

ほんにかえるプロジェクト 会報

2016 年 1 月創刊

# かえるのうた

第 7 号 2017・1 月



画：熊本 Y.T

新たなる 春陽ありて  
それぞれに  
静かに蒔きし ひと粒の種

代表 田中伸彦

会員みなさま、新しい年を新たな思いで迎えらるることと存じます。

昨年は私たちの力不足もあり、次々に起こる様々な問題に適切に対応することができないところがありました。

それでも皆様の温かい御理解と御協力で、最初の一年を何とか過ごすことができました。ありがとうございます。

昨年はこのプロジェクトを立ち上げた汪さんの熱い思いに賛同して、及ばずながら活動に参加してきました。

今年も会員の皆様の本を読む喜びと安らぎに、少しでも力になれるよう励む所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

新しい年をむかえ  
お祝詞もうしあげます

副代表 井手愛子 s. c. q.

時間とか空間に関心を持ち始めた、高校生のころ、1秒差で年が変わるなんて、人間の勝手ではないかと、変に力んで今日が明日に変わる秒針を睨んでいたことがある。何も変わらなかった。

朝の挨拶が「お早う」から「おめでとうございます」に変わって、元旦の食事になる。母自慢の輪島の漆器類が並ぶ。お屠蘇のあと、お年玉がくだされ、年賀挨拶の来客があり、賑やかな一日がはじまる。華やいだ空気が醸成される。

一年の計は元旦にあり。計も立てたが、なに一つ覚えていない。しかし、輪島の黒塗りのお椀の絵柄は「一富士・二鷹・三なすび」といい、鷹となすが金で描かれ、お椀の蓋が富士山である。という説明までもよく覚えている。鯉が二匹、金で描かれたお取り皿には、敬意を表して、少しずつ取り分けて食べていた。私の感性を育てたのは「輪島」だと言えよう。

時間の制約のなかで生きていく私たち。時間のなかで成長していく

なのでしょう。その時間を、どう過ごすか、その決定権は一人ひとりに平等に与えられています。まかされた時間の積み重ねが、現在の私です。

新年は過去をふりかえり、未来に夢と希望をもって、歩みはじめる時でしょう。人生にはいろいろな不平等性があります。能力の壁、人間関係の壁、生まれ落ちた家庭環境と生育暦の壁。「恵まれている」を5段階で自己評価したら、どこに位置づけられるのか。自己責任で無い場合が多いかもしれない。しかし、「やりなおす」機会はすべての人に平等に与えられています。

この1年、かえるメイトの方々と出会いながら、出会いが相互理解と柔らかな心無しには進(深)化しにくいことを学びました。内在的な理解を目指して、軌道修正しながら、歩いていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



## ダメダメ事務局長の

### ダメダメ年末年始

事務局長 汪楠

旧年中はお世話になりました。ダメダメ事務局長の所為で、かえるメイトばかりではなく、関係先にも害が及び、遅刻や支払いの遅れ、連絡忘れで本当に迷惑しか掛けませんでした。謹んでお詫びいたします。

新年は旧年の失敗を反省、思いを新たにする良い時期です。私はお酒を控え、タバコを止めることが目標でした。

そう、どちらも守れていません。

お酒は風邪をひいてもやめなかったので、薬が効かず、2か月以上風邪をこじらせました。救急外来で病院に行き、両鼻に長い綿棒を突っ込まれる検査を受けたところ、インフルエンザAが陽性と出ました。

大変です。私のいまの在留資格では保険に加入できないので、10割自己負担。1回で3万円も取られます。

こんなバカ局長ですが、今年も体力と財力(貯金ゼロのくせに)が続く限り、かえるメイトの皆様とともに歩んでいきたい所存(田中代表からのパクリ)ですので、今年もどうかよろしくお願いします。

## 保護会での生活は

### 迷人

「保護会とはいったいどんな所ですか？」と聞かれる事が多いので、保護会のことを少し書いてみます。

保護会とは刑務所を仮出所・満期出所で身元引受人・どこにも行く当てのない人達を一時的に保護する施設で、仮出所した人は満期日がくるまで生活し、延長を希望する人は、手続きしたら、2～3カ月は認められるけど、だれでもがではない。ルール違反したり、無駄遣いしたり、仕事をしない人、仕事先を何度も変える人はあまり認められない。

無期の人は、6か月から1年ぐらい生活することになるか、その間に社会生活に慣れるようにすることが大事なことです。相手を尊重し、感謝する心、ありがとう、すみません、と自然に言えるようになるのが、社会生活では、特に大切です。

これらの事は、今、自分が生活している、それぞれの場所でも同じだと思います。

保護会の生活とはちょっとはずれてしまいましたが・・・朝からの定められた行動は、起床が5時55分（早く起きて食堂でタバコを吸ったり、新聞を見たり、静かにしている分には注意されることはない）。すぐに、自分の担当する場所を、（職員から前もって言われる。

新入の人は便所掃除と決められている）掃除し、朝食をすます（7時頃まで）。新入の人は、7時半頃より食堂の片づけをした後は、自由

時間、仕事を探すために、ハローワークに行く人は多いです。昼食は各自のお金で食べることになります。

3時～4時位までの間に新入の人は毎日、浴場の掃除があり、本当に新入したての人は大変です。

仕事を早く皆が、見つけてくるよという、保護会の方針なのかもしれない、それが新入の人達の忙しさ、また、人の役に立つという自覚を持たせる事かもしれないのかも思います。

夕食は5時30分からで、自分の食べたい時間に食べる。その後は、食堂でおしゃべり、部屋でテレビを見たりするかは、自由です。

就寝時間は（門限）10時30分で、テレビの電源が切られるだけです、それが大体の1日の流れです。

保護会によって、ルールは違うと思いますが、人の部屋には立ち入らない、お金の貸し借りは厳禁です。気をつけてください。

このように、保護会は刑務所と同じような所もありますが、自由もある。まだ保護会を希望しても、決まっていない人は1日も早く決めてください。

そして残された時間を、すばらしい、幸せな生活を送っていただけるよう、かえるプロジェクトのスタッフ・ボランティアの人達、皆が1日も早く皆様が帰って来れることを願っています。

なおこれは新宿区にある、斉修会でのルールであり、1日の流れです。

# 料金システム変更後

財政難と事務手続き上の理由があるとはいえ、料金の値上げを行ったことについては事務局でも役員会議でもいろいろな意見がありまして、已むを得ず敢行しました。受刑者の置かれた状況を考えますと、平日毎日 8 時間労働でも月収にあたる作業報奨金は見習工で 500 円程度、5 年以上模範囚を続けてもやっと 1 万円になる受刑者にとって、検索結果一枚が 30 から 50 円に値上げされるのは大変大きい事と思います。

しかし、事務局の経費も大変大きいのも事実です。コンビニでコピーを取っても 10 円かかります。検索はいろいろなジャンルのものを依頼されます。1 枚を検索するのに時には 1 時間もかかります。それも本人のイメージしたものと違う場合は多々あり、苦情ないし指摘を受けます。

印刷するのにも経費がかかります。いま事務局で使っているのはケベック・カリタス修道女会に寄付していただいた中古複合印刷機です。インクカートリッジは全部で 8 本を使用しますが、重要な 4 本のお値段は 1 本でなんと 36,000 円もします。ほかの 4 本は減りが早く、それでも 1 本約 2 万円です。印刷機が一回故障すると修理代は基本料金で 2 万円です。

故障するたびに事務全般がスト

ップします。それを避けるために家庭用のプリンターを購入しました。これのインクはバックで約 6,000 円です。家庭用ですから当然大量印刷に不向きでコストが高い。もっぱら写真印刷とカード印刷に使っています。

印刷費用がこんなに高い事情を誰もわかっていません。受刑者が手元に保管できる荷物の量が厳しく制限されています。そのため、検索結果を印刷する際もできるだけ両面で印刷して送っていますが、2 枚分の料金を取るなら 2 枚で印刷しろと指摘されることがあります。ちなみに紙代は A 4 で 1 枚あたりは約 0.8 円です。両面印刷に対応した紙だと 1 円になります。つまり片面も両面も金額的には変わらないのです。いまはトラブルを避けるために片面印刷で対応しています。当然両面印刷を指定してくるかえるメイトが多いのです。中には節約したいから、両面印刷で 1 枚の料金にしてもらえませんかというかえるメイトもいます。

ご理解してくださるかえるメイトもいます。刑務所によってコピー用紙を換えるところもありますから、購入して送ってくださる方もいます。送料の方が高くなりますから、今はその方からは寄付をいただいています。ありがとうございます。

かえるメイトからは励ましのお手紙をいただいています。一部を省略して紹介させていただきます。



# かえるメイトの声

先日頂きました「かえるのうた」にありましたシステム変更ですが、私は当然の措置であると認識しています。いま、プロジェクトが抱えている経済的問題は、そのままプロジェクトの存続に直結します。汪さんが打ち出の小槌でも持っていない限り無策では乗り越えられません。その認識は私たち支援を受ける側も持つべきです。多くのかえるメイトが自分にできる中でプロジェクトに貢献していくことは重要です。貢献というのは、なにも寄付をすることだけではありません。事務手続きの遅延を起こさせるような無理難題を押し付けないとか、出所後にボランティアとして手伝うなど考えれば様々な形の貢献の方法があるはずです。私たちに向けられた善意に対して自己欲求だけを強要する者は単なる愚か者の誹りを免れません。私は、プロジェクトのスタッフ全員の志に対して、支援を受ける受刑者は覚悟と協力をもって答えるべきだと思っています。

汪さんが見せた強く厳しい姿勢がきちんとしなければ支援が受けられなくなるという実利的な面に働きかけたことで、一人でも多くのメイトの意識が変われば良いなと思っています。

人間の意識が変わるきっかけな

んて、だれかのひと言であったり、自分の一言動である場合が多く、それほど大きなものではないのです。問題なのは、受け取る側の感度なのです。そこに働きかけていければ、更生の道が拓かれると思っています。

「かえるのうた」で新しく始まった「ともに考えよう新たなスタート」のコーナーですが、とても良いコーナーです。私たち受刑者が所内で出所後のイメージを具体化するための重要な材料となりますし、様々な意見に触れることで自分の意見が磨かれ、より多くの引き出しが作れると感じました。

「かえるのうた」の中に、被害者、加害者を含めた犯罪関連の手記や更生についての書籍を紹介するコーナーがあったら良いと思います。一個人の勝手な希望ですが、ご検討頂けたら嬉しいです。

最後になりますが、送金した中の1万円を寄付したいと思います。どうぞ御査収ください。

---

ご賛同の意見ばかりではありません。次のようなお手紙もいただくことがあります。ちなみにこの方は毎回 300 件以上の検索を依頼してくる方です。ご指摘を受けるたびに会議を開き、慎重に真摯に対応しようと心がけていますが、最後までご理解を得ることができませんでした。

当初は「本当に汪さんの活動には感謝しています。私どもの味方であ

り助かります。特に私なんかは面倒なことを頼んでいるともいえますので、できないことははっきり言ってください」という文面でこの方からお手紙をいただいたことがある。依頼件数が尋常ではない多量のため、こういう方が多かつたらどうしようと思事務局のメインスタッフの本田さんと悩みました。100件以上の検索をこなした後に、他のかえるメイトをサポートする時間を確保するために依頼件数を減らしてくださいとお願いしました。それを無視して倍以上の312件を依頼してきました。

312件ですよ。これについて注意したところ、トラブルに発展しました。本人の手紙を無断で掲載するわけにはいきませんので、事務局長として書いた返事を載せたいと思います。

## かえるメイトの声

質問に答えます。

①会員様からの依頼に関しては極力対応するように努力していますが、必ず応じねばならない規則はなく、またそのような法規があるとも認識していません。特にAさんの依頼は常識はずれに多く、対応しきれないものではありません。

ほんにかえるプロジェクトは営利団体ではありません。商法を適用される認識はありません。変更前の依頼については救済策として自腹

を切って、アルバイトを雇い対処しました。しかし、会員の平均依頼件数は月で5～8件前後であり、Aさんのように400件近くも依頼してくる方はいません。会員を平等に支援するためにもAさんのためにだけ他の会員の何十倍の時間をかけるわけにはいきません。私たちの活動にご賛同されているのであれば、もっとご理解をいただけたと思います。

Aさんは損害が大きいといいますが、別にそれで私たちが得しているわけでもなく、昼間は生活のために働き、夜と休日のほとんどをこの活動に費やしてきた私と本田さんはやり切れなさでとても切ない気持ちになりました。

②法的見地という言葉の意味は理解しかねます。これでも私は週に三日以上は法律事務所にて手伝いをしていますし、いくつかの自治体の外国人向け法律相談の通訳として正式に登録されています。商法と民法の通信教育も終了しています。Aさんが損害賠償を求めるお考えなら、こちらとしては誠に残念なことではありますが、その意思を尊重するとしか言いようがありません。

③やっていることが狡猾という指摘については自分ではそんな認識はありませんので、意見を保留にします。検索については会計上の損失が大きすぎるため、値上げするか、中止するか選択肢が私たちにならないのは今も変わりません。ご不満でしたら、ぜひ狡猾ではないところ

に依頼していただきたいとしか言いようがありません。

④会員番号は準備出来次第、お知らせしますが、年度末の会計を終え、大幅なシステム見直しを強いられることになりました。当方としては大量の退会者も予測していますので、その返金に応じるための会計作業で忙しく、今しばらくお知らせできません。

⑤検索依頼される際、検索キーワードを指定されるのが普通です。三つを指定していただくことでより正確に検索できると考えてのフォームである。

⑥こちらの告知をよく見れば理解できると思いますが、ひと月につき 2 件までしか検索しませんと明言しています。2 枚しか入れてないといいますが、それは書き損じも考えられるうえ、用紙だけを毎月送るのも経費の無駄になりますので、一枚しか入れる必要がなかったところではありますが、2 枚を送らせていただきました。6 月はまだ当プロジェクトをご利用されるお考えなら、その 2 枚目の用紙で依頼してください。

⑦会社調べも一社是一件としてカウントします。本の出版情報の検索は購入と合わせて 20 件までとします。それ以上の検索は一冊是一件としてカウントします。

⑧注文した本は業者から刑務所に送られますが、一部の刑務所では業者名のみにての郵送差し入れを認めないことがあり、刑務所の会計

課が受け取り拒否することがあります。業者側にしてみれば、注文通りに商品を届けに参りましたが、受け取らないといわれて、悪質なはずだと認識し、返金に応じてくれるところはほとんどありません。

差出人は販売先では困りますといいますが、こちらはそんなことを言われても対処のしようがありません。プロジェクトも一部の本を出品している関係で、分かりますが、アマゾンも楽天も納品書の作成はオートメーション化され、個人ではない限り、全部会社名で納品書を作成し、発送しています。

老荘思想入門（PHP 文庫）は 3 月 3 日にこちらの業者に注文したものです。

販売業者：（以下省略）

この業者は返金に応じてくれませんでした。

人生を奮い立たせるアウトロー 100 の言葉は 3 月 3 日にこちらの業者に注文したものです。

販売業者：（以下省略）

この業者は返金に応じてくれませんでした。

⑨本の無料提供は送料を負担してくださる方を優先的に対応したこともありましたが、批判されかねないうえ、お金がない方を優先させたいので、そのような便宜はもう図ることが出来ません。

⑩免許証のコピーは表と裏を一枚の紙に印刷する必要があるため、まず表をコピーし、それを切り取ったうえで、免許証の裏面と並べてコ



ピーする方法でやりました。保険証も同様の方法でコピーしたので、最終的にお渡ししたのは 7 枚でもコピーは全部で 9 回しています。40 円の 7 枚で計算し、280 円としましたが、35 円でも 9 枚は 315 円になりますので、こちらとしては 315 円に修正させていただきたい。もし不満でしたら、コピーを全部返していただければ 280 円の返金に応じます。送料はプロジェクトが負担するのも面倒ですので、事務局長の私と本田さんがそれぞれ 41 円ずつ負担します。

⑪定額小為替の扱いについては会員申込票に明記したように一割減とし、同意していただいた方からしか受け取っていません。しかし金券ですので、一般封筒での送付はお勧めできません。切手でもそうですが、送ったとされる金額と実際に届いた金額が違ってくる場合があります。開封した私と本田さんが補てんしてきましたが、それでも文句を言われるのは馬鹿らしいので、定額小為替を一般封筒で送付された場合は着払いで送り返すようにしました。お手数ですが、定額小為替でお支払いを希望される際は必ず現金書留で送ってください。送料はご本人負担でお願いします。

⑫免許証を送られてきて、対応に困った記憶があります。とても大事なものですので、慎重に簡易書留で返送させていただきました。ほかの方なら信頼関係で一般封筒で返送することもあるかもしれませんが、

Aさんの場合はとても繊細なご性格のようで、良く細かい指摘をされますので、こちらはトラブルを避けるため、簡易書留で送らせていただきました。

簡易書留の基本料金は 310 円です。手紙そのものの料金は 82 円が最低額ですが、Aさんに発送する際は重量が 25 グラムを超えていたことに気づかず、392 円で請求する文面を作り、封をしました。しかし郵便局に行って量ったところ、450 円を請求され、誤差の分の 48 円は本田さんが補てんしました。本田さんはこの半年でこのような補てんや支援に 20 万円も拠出しています。ほとんどの返信も彼女の手書きでした。それでも批判されますので、彼女は毎月いっぱいやめることになりました。検索する人は私一人になりましたので、100 名近くの方の対応には到底対処しきれませんので、退会していただけると大変助かります。

⑬Aさんは入会された時期は第一号が発行された後でしたので、送りませんでした。バックナンバーの在庫がありませんので、送ることは出来ません。

⑭かえるのうたは奇数月の上旬の発行を目安としています。

⑮上限金額より高かったため購入しませんでした。上限金額以下なら買い、以上なら買わないと決めていますので、事後報告する必要もないと認識しています。事後報告で 82 円を請求されてAさんは納得す

るのですか？

⑩一か月以内に対応できると思います。ほかの人はともかくAさんの分はやります。朝令暮改と言われるのも面白くないので、Aさんに対してのルール変更はしない方針です。新しいサービスを開始する予定ですが、Aさんは変化に弱いと認識しましたので、本の無料提供と検索サービスに限定させていただきます。

⑪かえるめいと名は皆様のプライバシーを守るためのものです。検索そのものを外部の方に依頼する方向で調整しています。皆様の本名が外部に漏れるのは良くないと考えていますし、特に性犯罪者に対しては支援したくないと明言するボランティアさんが多いので、ピンクと呼ばれる方々のためにもこのような取り決めとさせていただきます。かえるめいと名はご自身で決めて結構です。

⑫どこでもいいですよ。月に3冊しか送ることが出来ませんので、3冊分の記入用紙を作りませんでした。

⑬Aリストの在庫はあります。

⑭まもなくリストは一元化します。

以上は事務局長としての回答です。

個人としてAさんに言いたいことがあります。私も刑務所に入っていた者です。全部で20年も施設暮らしをしてきました。中で何かを待

つことの辛さを知っています。お金がなくて本を買えない辛さも知っています。だからこの活動を周囲に呼びかけ始めたのです。刑務所はいかに酷いところか私は知っています。講演会でそれを話し、刑務官もいかに上司・先輩にパワハラを受け、人権侵害を受けているかを話します。厳罰だけでは犯罪は減らないと考えますし、厳しくするだけでは再犯は防げないとも考えています。

反省は1人でもできますが、更生は1人ではできませんと言われていています。私もこういう活動を通じて多くの方に支えられ、皆様と共に更生（私はこの言葉が嫌いですが）ではなく、新しい生き方を見つけれたらいいなと思っています。

私は17歳でやくざになり、電話番号をする前に××処理をやらされました。西葛西を本拠地としていましたので、Aさんもきっとご存知の組と思います。しのぎをポーカ屋としていた時期が長く、組には内緒でやくざ相手のタタキを得意としていました。貯金は1億円以上になり、それこそ自分は何でもできると思っていました。

でも人生はそんなものではありません。仲間がバタバタと殺され、自殺し、薬でヨレていくのを目の当たりにして、私は自分の人生に自信を持てなくなりました。それで出所を機に、新しい生き方を始めました。また違う面から言えば、15年ぶりの娑婆は変化が大きく、とても第一線で体を張れないのも事実です。土

方しかできないやつでもこの歳になると家を買って、結婚し子どももいて幸せそうに暮らしています。自分ら不良をしてきたやつらはどいつもこいつも幸せそうに見えないんだよ。それもあって生き方を変えました。

Aさんにも更生とは言わず、幸せになってもらいたい。そのための活動でもありますから、努力を惜しまないつもりです。しかし、人間には習性というものがあります。下手に出られるとほいほいと何でもやってしまうし、やはり強く出られると反発心が出ます。それで刑務所で懲罰もずいぶん行きました。

でもさ、もう44歳です。もうチンピラではありません。堅気になった以上は隅で生きるようにしなければなりません。そういう辛さがあります。Aさんもいつか出所します。生きやすくするためには刑務所にいる間にいろいろ覚悟し、馴れておく必要があります。昔の自分の基準で腹立たしいことも多々あると思いますが、辛抱を覚えないと本当にまた刑務所に戻る羽目になります。頑張ろうよ。

このような返事をしましたが、残念ながら分かり合うことにはつながりませんでした。なお文中の箇条書きは本人が1条ずつきちんと回答しろとの指示によるものです。本人からの返事を抜粋しますと、このような文面です。

ほぼすべての回答に不満です。私

の不満をぶちまけると便せん1冊では足りません。汪さんに対して煩惱をカタルシスするため割愛しての文句を伝えます。

突然のルール変更、高圧的な文面、謝罪もなく、退会奨励を示唆、底意地の悪さ、生産性に乏しい、対面して唾が飛ぶぐらいの距離で伝えてあげたい。

このような文面の後に届かなかった2冊の本の注文履歴(注文した証拠としてこちらが送付したもの)をもって刑務所側に確認したところ、未登録の個人や業者からの郵送物は受刑者本人に告知することなく、送り主に送り返す措置をとることがありますという回答をされたという。2冊のうち1冊は救済措置としてこのAさんに渡すと刑務官は約束したが、もう1冊に関してはすでに国庫のものになって返せませんという。この問題は刑務所の恣意的な内規によって生じたものです。プロジェクトに落ち度がない筈ですが、謝罪は要らないけど、誤解があったの一言がほしかったのですが、今後はこのようなことがないように注文したら注文履歴を必ず送れと要求。業者から本が届く時期とプロジェクトから注文履歴が送られる時期が一致すれば本が無事手元に届くかもしれないから、そうしてくださいとのこと。手紙の最後に汪さんはキリストを信じているのですか？私は2年前からキリスト教の教誨を希望して受けていますが、作り話が多くて近いうちに離

脱しますとありました。儒教と仏教そして武士道が解せるとさ。それならなんでキリスト教の教誨を申込したのか、受刑経験者だからわかることですが、その境界に参加しているほかの受刑者と不正連絡するためだけに申し込み、関係が悪くなると退会する輩がいる。

このような誤解が生じると、スタッフだけでは対処できません。事務局長として本人との手紙のやり取りをすべて読み直したうえで、回答します。それでも解決できない場合は月一の役員会議で報告し、協議します。その都度よく指摘されるのは私の返信の態度です。もっと丁寧に対応すれば理解していただけるはずという意見です。それを真摯に受け止め、苦情はすべて代表と副代表に処理をお願いすることにしました。1件を処理するのに2か月もかかります。当然です。すべての手紙と会計帳簿とアマゾンの注文履歴を確認するわけですから。



## ほんにかえるプロジェクトの進化 こがえるメイト と

**OB・OG(オボッグ)** の新設  
かえるメイトの皆様

「ほんにかえるプロジェクト」会員応募者は当初の予想をはるかに上回って、2016年7月時点で100名に達しました。と同時に60名の入会希望者(当分の間毎月5名を受

理)が待機していました。この数はさらに増え続け、現在は新規申し込み来信に「受け取り拒否」の付箋を貼り、涙をのんで受理そのものを断っています。これはひとえにプロジェクトのマンパワー・マネーパワー両面での体力不足に由来します。これまでも事情を説明し、再三退会や終了を勧めてきましたが、応諾者は十数名だけでした。

この状況は被収容者にとって当プロジェクトが必要とされており、期待感の大きさとある程度の満足度を表わしていると見ていいでしょう。「ほんにかえるプロジェクト」は存在意義があり、自立更正支援活動を着実に継続するのが望ましいこと、再確認いたしました。一度築きあげた絆を大事にしながら、退会を望まない会員には事務所に余裕があるとき、できる範囲での支援を続けていくことも選択肢として残しました。

プロジェクトのキャパは50名を支援していくのが精一杯です。そこで以下の打開策を考えました。

### 1 規模(1年間試行)

1. 被収容者会員の定員を50名とし、フルサポート期間を1年間とする。
2. 「かえるメイト」OB・OG(オボッグ)制を設ける。
3. 「こがえるメイト」制を創設する。

### 2 「かえるメイト」OB・OG(オボッグ)制について

フルサポート期間を終えた「かえるメイト」が、強く残留を望むとき、

「プロジェクト」の承認を得て、年に1-2回、不定期ではあるが支援（検索・購入代行）をうけられる。

**承認の基準：**残刑が長い人。孤立度の高い人。プロジェクトの方針を認められる人。

**手続き：**会員登録を更新する（登録料不要。年会費 500 円を納入）。郵便で申し込む。

**3「こがえるメイト」について**  
従来の書籍および物品購入代行と検索の定期支援は終了するが、新たに文通ができる。

### 文通責任者

西原瑛子（文通永年の体験者）

〒204-000

清瀬市旭が丘 2-2-7-305

井手愛子（文通のチャレンジャー）

〒225-0011 横浜市青葉区

あざみ野 1-16-15

状況に応じて、他の文通者を紹介することがあります。

**\*文通内容（1年間試行）**

機関誌「かえるのうた」のほか、「瑛子レター」又は「愛子レター」をそれぞれの文通者に送る。

個人的な手紙の交換も可能

（返信用切手 82 円の同封をお願いします）。

**\*年会費 500 円（通信 82x6=492 円）年間 6 回、機関誌とレターを同時送付。**

**\*申し込み方法**

下記の必要事項を記入のうえ事務所に郵送する。

- ① 残刑および親族・知人との交流状況。
- ② 文通希望者（西原か井手を明記する）。

## かえるのうた



反省させると犯罪者になります  
（新潮新書）単行本 - 2013/5/17  
岡本 茂樹 （著） ¥778

推薦人 汪楠

この本を読んだのは岐阜刑務所にて受刑していたころでした。13年間の受刑生活、それは本を読む時間に恵まれていました。と考える未経験者が多くいらっしゃると思いますが、実際は受刑者の毎日は分刻みで管理され、落ち着いて本を読める環境ではありません。大半の受刑者は6~9人の雑居（大部屋）で生活し、とても狭い空間のため、何よりも人間関係を優先しないと日本人特有の村八分に遭いますので、常にだれかに声をかけられ、誰かに監視されているストレス 200%の世界です。

この本の中身ですが、まずタイトルが挑戦的ですね。更生するよりも更生させる目線の本が氾濫する中、このインパクトは大きい。

著者の論旨は「悪いことをする」→「『すみません』と言って反省する」→「終了」というパターンが問題だと。言いたいことは、このパターンを続けているかぎり、自分の家系のいずれかの世代で、誰かが重大な犯



罪を起こす可能性があるということです。したがって、誰かがどこかの時点で、「悪いことをしたら反省させる」という育て方を止めなければならぬのです。

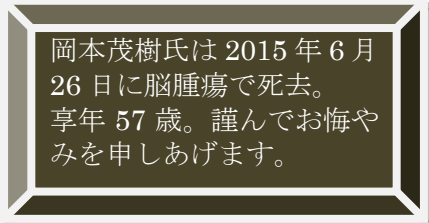
このような前書きに納得する人はそういないと思いますが、本文を読み進めるに従って、著者の主張は俄然説得力を帯びてくる。本文を読み進めるに従って、著者の主張は俄然説得力を帯びてくる。文中では酒井法子氏の記者会見の言葉を引用している。まさに非の打ち所がない反省文。それでは何がいけないのかについてはぜひご自分でご一読されて、納得していただきたい。さらに元犯罪者としてもっとも領けたのはこの部分である。

犯罪があった場合、犯人に反省を求める際、被害者のことを考えよともよく言われることであろう。「被害者のことに思い至れば、自分の罪の深さに気付かないわけではない」という発想であるが、これも間違っていると著者は指摘する。そして被害者のことを考える前に自分のことを考えよと主張する。自己理解なくして他者理解はないとするものである。そうしたプロセスを経ずに反省をさせることで、自分の不満や不安や様々な行為の引き金になった感情に蓋をして、内に閉じ込めてしまうことになる。結局それは上辺だけの反省につながり、本当の反省からはむしろ遠ざかるものである。

これですよ。私が思うには、反省に終わりはないのです。法律上の罪

は服役したことで終わるかもしれない。でも道義上の罪は終わることではない。それは詫びようが、許されようとか関係ないことです。その道義上の罪は自分自身しか感じることでできないと哲学者のカール・ヤスパースというおっさんが言っている。さっさと反省して終わらせようとすると、本当の反省は出来ないともし、そんな反省という名の欺瞞工作の後では到底自分の問題に目を向けることができないと私は思う。

この本は結構売れました。もちろん反対意見も多くありました。反対意見がなかったらむしろ嫌ですね。代表的なのは、被害者ではなく、犯罪者に優しい、犯罪者を甘やかす社会になってしまうという意見です。犯罪者に厳しくすれば、もうやらないだろうという意見ですね。ばかっ！それではうまくいかないから再犯率が 50%超えているじゃないかよ。と心の中で思いました。



岡本茂樹氏は 2015 年 6 月  
26 日に脳腫瘍で死去。  
享年 57 歳。謹んでお悔や  
みを申し上げます。

このコーナーはかえるメイトの提案により作りました。今後も書籍の推薦を募集していきますので、ぜひあなたのおススメの一冊を教えてください。

## 事務局の現状

ほんにかえるプロジェクトの存続が危ぶまれる今、実務の中心を担う事務局の責任者として、その現状を説明する義務を痛感しています。

プロジェクトは 2014 年 9 月 30 日に設立しました。設立当初から協力してくれたのは本田さんでした。彼女のことをご存知のかえるメイトも多いと思います。事務局から発する手紙の 9 割は彼女の手書きによるもので、まさにプロジェクトの縁の下での力持ちでした。その彼女は諸事情により、やめることになりました。彼女の強い希望により、これ以上の言及を避けますが、感謝しても感謝しきれないほど彼女はプロジェクトにとって無くてはならない存在でした。

事務局には毎日会員から 5~10 通のお手紙が届き、アマゾンからは 3 冊前後の転送が必要な書籍が届きます。これを毎日処理するのは大変です。今後は事務がさらに滞ると思われるので、どうかご理解ください。

この誌面でこれだけ内情を話しても、未だにボランティア団体だから物好きのスタッフと、お人よしからの寄付が沢山あると勘違いされる方がいます。更生支援の重要性を社会が理解していないと書けば、助成金をもらえないことをさしていると思っている方もいます。そうではなくて、加害者と被害者を天秤に載せたときに、助けなくちゃと思う

のは被害者の方であるのは常識になっていることを言っています。加害者側である私たちをどうして助けなくちゃならないのかを常に説明する立場に立たされていることを理解していただきたい。

受刑者の間にも蔓延る自己責任論が最大の敵と思います。罪を犯したのは自分たちです。重大な責任があるのは事実です。ただ全部自分らの責任と私は思っていません。岡本茂樹氏の著書にも書かれていますが、全責任が自分にあるわけではないという風に取りられると、まるで反省していないと思われれます。それを恐れて、ひたすら全責任が自分にあると思ひ込もうとし、あるいはそう演じようとするのが、自分の問題から目をそらすことになり、同じ状況に置かれたとき、また同じ選択をしてしまうのが再犯率の高さの背景にある事実と考えます。

アマゾンで購入代行した本を事務局でいったん受け取り、個人名で転送してほしいという方が多くいます。大した手間でもないだろうと思われていますが、本は 1 冊ずつ届き、それを各刑務所が恣意的に決めた差し入れ制限冊数に達するまでに保管し、3 冊なり、5 冊なりまとめて送るとなると、ミスしやすくなります。ミスが起きるたびに脅かされることもあれば、損害賠償を求められることもあります。それを処理しているのは私と本田さんだけですから、責任は二人にあるとされてしまい、補てんすることになります。

私たちは無報酬でやっています。資金を出している上、補てんもさせられるのは精神的にも辛いし、金銭的にも限界です。本当に。

皆さんから励ましの言葉をいただいております。ありがとうございます。しかし、ちょっとしたことで逆鱗に触れることがあります。どんなに心を込めてサポートしてもあら捜しをしてくる人がいます。そんな事はないだろうと反論されることが多いのですが、受刑経験のある方ならわかると思います。刑務所の中という環境がそうさせていると思いますが、そういう人は刑務所の中にたくさんいるのも事実です。刑務所で何が一番苦労したのかと聞かれると、まず思いだすのは受刑者同士のいがみ合い。箸の上げ下げの仕方まで文句を言う人がいます。新聞をめぐる音が気に食わない。しまいにはおれをチラ見したといって殴り掛かる人もいます。そういう人と付き合うのがプロジェクトです。と言えば語弊があると思いますが、理解していただけるのではないかと個人的に思います。

結論として、事務局はパンク状態です。やるべきことを喚起してくださる方はいますが、一緒にやってくくださる方がいません。こんな状態です。今後、退会勧告を出していくと思います。こがえる制も含めて、いかに活動を継続させていくかについての工夫をしていきますが、どうかご協力をお願いいたします。

ほんにかえるプロジェクトは会員を募集しています。正会員の年会費は 3000 円。寄付もお待ちしています。

振込先

ゆうちょ銀行

10160-86239211

他行からの場合

ゆうちょ銀行 018 支店

(普) 8623921

口座名義は

ほんにかえるプロジェクト

ほんにかえるプロジェクトは**ボランティアスタッフを募集**しています。在宅のままでもできるパソコン入力と文通スタッフが特に不足しています。自宅の住所を公開する必要もありません。プライバシー保護に細心の注意を払っております。

入会申し込みが大変多く、対応しきれません。支援体制が整うまではお問い合わせの手紙を受け取り拒否とさせていただきますので、口コミにて周囲へもお知らせください。

プロジェクトは深刻なスタッフ不足と資金不足状態です。解散寸前なので、到底新しく会員を迎えることは出来ません。ご理解ください。